やまいろ おんせん かんこう きょうかい
山色温泉観光協会

# にほんご 日本語 ねんぴょう 年表

蘆河編

**720** 『日本書紀』（外国向けに書かれた朝廷公式の厂史書）

**725** 行基、ヤタガラスの導きで山代温泉を発見！（伝説ですが）

**794** 平安遷都。『新訳華厳経音義私記』この本には則天文字が使われる。国字という和製漢字のヒントになったものです。

**822** 東大寺で書かれた『成実論』に現存最古のカタカナ

ついでに
822 最澄没（七六七生）
835 空海没（七七四生）
864 円仁没（七九四生）
891 円珍没（八一四生）

**880** 安然『悉曇蔵』（サンスクリット梵語に関する研究が盛んに行われた。これが日本語研究につながる原動力となる）

**905** 『古今和歌集』奏上（ひらがなが公式に使われる）

**970** 源為憲『口遊』（児童向けの教科書。この中に九九や「大為爾の歌」が載せられる。「大為爾の歌」は、「いろは歌」・「五十音図」に先行するもの）

**1000** 清少納言『枕草子』（日本語が汚なくなってきていると言う）

**1002** 紫式部『源氏物語』（当時の話し言葉がよくわかる最高の資料）

**1004〜1028** 『孔雀経音義』（五十音図らしきメモ）

**1079** 『金光明最勝王経音義』（「いろは歌」と「五十音図」の断片）

**1093** 明覚『反音作法』（最古の「五十音図」、山代温泉で作られる！）

**1235** 藤原定家、この頃「百人一首」を編む

**1330** 吉田兼好『徒然草』（現代の言葉はいわば、平安時代の言葉はいいと言う）

**1333〜1392** 薬王院石造五輪塔（明覚上人供養塔）建立

**1549** フランシスコ・ザビエル、鹿児島へ

**1603** 『日葡辞書』、長崎で印刷される（日本語3万2千語をポルトガル語に訳す）

**1801** 日本語研究に大きな業績を残した本居宣長没

**1900** 文部省「五十音図」発表＋変体仮名使用廃止

**1926** 日本放送協会JOAKラジオ放送開始

**1947** 「日本国憲法」公布（口語体・ひらがな・濁音・句読点を使う公文書として初めてのもの）

**75** 後漢の光武帝から「漢委奴国王」金印を賜わる

**471** 第21代雄略天皇のことが記録される鉄剣（埼玉県行田市稲荷山古墳。天皇の存在が漢字で示された最古の史料）

**604** 聖徳太子『十七条憲法』（官僚や貴族に対する道徳的規範ができる）

**712** 『古事記』（現存する日本最古の歴史書。日本語の音でそのまま読める）